

平成26年度福井県総合防災訓練実施結果

1 目 的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は勝山市に主会場をおき、大雨による土砂災害や水害、地震の大規模災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

2 日 時 平成26年11月1日(土) 8時00分～12時00分

3 場 所 (1) 主 会 場 弁天緑地(勝山市本町)
(2) 住民避難訓練 勝山市一円および大野市保健センター

4 主 催 福井県、勝山市

5 参加機関 84機関(約1,000人)

(1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、北陸総合通信局、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所

(2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊

(3) 応援県、市関係

石川県、富山県、奈良県、石川県白山市

(4) 警察関係

福井県警察本部、勝山警察署

(5) 消防関係

福井県消防長会、勝山市消防本部、福井市消防局、大野市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、白山野々市広域消防本部、勝山市消防団、勝山市消防団協力事業所、勝山市防火管理研究協議会

(6) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)福井県歯科医師会、(一社)勝山市医師会、日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、勝山市赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井勝山総合病院

(7) 交通運輸関係

(一社)福井県トラック協会、大日運輸(株)、日本通運(株)福井支店、(一社)日本自動車連盟、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株)金沢支社、(公社)福井県バス協会

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTネオメイト北陸支店、(株)NTTフィールドテクノ北陸支店、(公財)日本公衆電話会、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモCS北陸(株)、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)、北陸電力(株)奥越営業所、(一財)北陸電気保安協会、勝山建設業会、勝山管工事業協同組合、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体

日本郵便(株)北陸支社、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、勝山市社会福祉協議会、NPO法人災害救助犬ネットワーク、福井県石油業協同組合、福井県地方卸売市場協議会、(株)福井銀行

(10) 地元地区関係 (勝山市住民)

(11) 福井県

(12) 勝山市、大野市

6 参加車両等 車両 102台 航空機 2機 (陸自1機、福井県防災航空隊1機)
※7機参加予定のところ荒天のため2機のみ参加

7 訓練想定

大雨による土砂災害や水害、震災の発生

- ・台風の接近に伴い、11月1日午前8時00分に奥越地域に土砂災害警戒情報、同日午前8時30分に奥越地域に大雨特別警報が発表
- ・勝山市内では、豪雨によって大蓮寺川の水位が上昇し、氾濫のおそれ
- ・その後、勝山市の直下を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生し、勝山市で最大震度6強を観測
- ・勝山市内では、家屋の倒壊や火災、ライフラインの被害が発生

8 主な訓練実施項目

- (1) 勝山市内の全市民を対象に避難勧告を発令し、大雨による土砂災害や水害、地震に対応した住民避難および情報伝達を実施
 - ア 住民避難訓練（参加住民 約3,500人）
 - (ア) 新基準により定めた指定避難所（全17か所）の開設および住民の避難
 - ・土砂災害警戒情報の発表を受け、避難勧告を発令し、住民が避難（約1,600人）
 - ・大蓮寺川が氾濫するおそれから、避難勧告を発令し、住民が避難（約400人）
 - ・地震発生による二次災害のおそれから、避難勧告を発令し、住民が避難（約1,500人）
 - (イ) 地震による停電を想定した避難所運営（勝山市教育会館）
 - イ 情報伝達訓練
 - (ア) 「やさしい日本語」による避難勧告の住民への情報伝達
 - (イ) スマートフォン（多機能携帯端末）を活用した避難および被災状況の収集と収集した画像を県庁および主会場モニターへ伝送
- (2) 大規模災害現場において消防、警察、自衛隊等の防災関係機関が協働して、捜索、救出救助を実施
 - ア 消防、警察、自衛隊および石川県白山野々市広域消防本部が協働した土砂災害現場における行方不明者捜索、埋没車両および家屋からの救出救助
 - イ 地域住民、地元事業所、防災関係機関が連携した倒壊建物からの救出救助、火災防御
- (3) 災害時応援協定に基づく訓練を実施
 - ア 福井県石油業協同組合による災害対応型中核給油所での緊急車両への燃料の優先供給および指定避難所への燃料供給
 - イ (株)福井銀行による一時待避所の開設および避難者の指定避難所への誘導

9 訓練を通じた課題等

- (1) 訓練を通じた課題
 - ア 住民避難訓練において、防災行政無線や広報車による避難勧告の連絡が聞きとりづらい場合があったため、様々な伝達手段の活用が必要
 - イ 河川の氾濫を想定した住民避難訓練において、危険箇所を避ける複数の避難経路や避難場所をあらかじめ設定し、訓練に取り入れることが必要
 - ウ 住民の防災意識の向上を図るため、住民参加の訓練を継続して実施することや住民が参加しやすいよう展示・体験ブースを設けるなどの工夫が必要
 - エ 関係機関の協働訓練において、後から駆け付けた自衛隊に対し、被害や救助等の情報伝達が不十分であったため、現地対策本部における情報提供のあり方について検討が必要

- オ 関係機関の災害対応力向上のため、訓練にブラインド的な想定を取り入れることが必要
- カ 悪天候による視界不良でヘリコプターが飛べないことを想定して、代替手段を用いた訓練を行うことが必要

(2) 今後の対応

上記の課題を踏まえ、効果的な住民への情報伝達の手段や方法、住民の訓練参加の促進、実動機関の情報共有の強化等を図り、より実践的な訓練に向けて県、市町、関係機関が連携を強化していく。

平成26年度福井県総合防災訓練 関係機関アンケート結果

成果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の実情や近年全国で多発している災害を踏まえた想定・内容で良かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他機関との連携を主眼に置いた訓練により、関係機関相互の連携確認ができて大変良かったと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、消防、警察、自衛隊、医療、地域が合同で災害時を想定した訓練を行ったことで、お互いの役割などを学ぶ機会になった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整会議後に訓練ごとに分かれて各機関で検討できて良かった。意見も出しやすく、細部までスムーズに調整できた。

課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 展示ブース、体験コーナーは充実していて良かったが、ブースを会場内のアスファルト通路沿いにするなど、住民の目につきやすく、入りやすい配置にするともっと住民へのアピールができたのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練車両の待機・会場進入時間が詳細に決められており、訓練車両の入退場による混乱はなかったが、待機場所への集合時間がかなり早めに設定されていたため、待機時間が長過ぎたように感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ アナウンスは分かりやすかったが、場所によっては聞きとりにくいところがあった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場は、天候（雨）を考慮し、水はけが良い場所等の選定が必要と思われる。（2年連続で雨による実施）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地対策本部からの被害や救助等の情報提供が、後から駆け付けた自衛隊に対し不十分であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの関係機関が集まる訓練にブラインド的な想定を取り入れてはどうか。

平成26年度福井県総合防災訓練 住民アンケート結果

アンケート回答数

教育会館避難者数	167
アンケート回答者数	57
回答率	34.1%

問 性別

	人	割合
男性	22	38.6%
女性	35	61.4%
合計	57	100.0%

問 年齢

	人	割合
10歳未満	0	0.0%
10歳代	1	1.8%
20歳代	2	3.5%
30歳代	0	0.0%
40歳代	6	10.5%
50歳代	7	12.3%
60歳代	22	38.6%
70歳代	16	28.1%
80歳代以上	2	3.5%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

問 職業

	人	割合
会社員	11	19.3%
自営業	8	14.0%
公務員	1	1.8%
学生	1	1.8%
主婦	21	36.8%
その他	15	26.3%
合計	57	100.0%

問 避難勧告の連絡を何で受けたか（複数回答可）

	人	割合
屋外スピーカー	30	52.6%
緊急速報メール	15	26.3%
市の緊急メール	9	15.8%
区長等からの口頭連絡	16	28.1%
消防団の広報	2	3.5%
その他	4	7.0%
無回答	4	7.0%
合計	80	—

<「その他」>

- * 区の広報
- * 役員だから

問 避難勧告の連絡が聞き取れたか

	人	割合
聞き取れた	45	78.9%
聞き取れなかった	11	19.3%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

<「聞き取れなかった」と答えた人の理由>

- * 外に居ればよいが屋内だと聞こえない
- * こもっていて聞き取りにくかった
- * 声が割れて聞こえる

問 避難勧告の内容は分かりやすかったか

	人	割合
分かりやすかった	46	80.7%
分かりにくかった	10	17.5%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

<「分かりにくかった」と答えた人の理由>

- * 家の中なので聞き取りにくい
- * 聞こえなかった
- * 聞き取れなかった
- * 車が移動していて内容が聞き取れない
- * 今一度連絡のやり方を見直しては

問 避難は円滑に実施できたか

	人	割合
できた	46	80.7%
できなかった	4	7.0%
わからない	6	10.5%
無回答	1	1.8%
合計	57	100.0%

<「できなかった」と答えた人の理由>

- * どうしたらいいか明確にわからなかった
- * 避難勧告の連絡がなかった
- * 足の不自由な母がいる

問 避難所の運営は円滑に実施できたか

	人	割合
できた	29	50.9%
できなかった	5	8.8%
無回答	23	40.4%
合計	57	100.0%

<「できなかった」と答えた人の理由>

- * 集合場所等の説明不足
- * 集まった時、連絡が全くなかった
- * 公園から避難所への移動がスムーズじゃない

問 AED、濃煙などの各種体験の感想は

	人	割合
役に立った	16	28.1%
役に立たなかった	0	0.0%
その他	4	7.0%
無回答	37	64.9%
合計	57	100.0%

問 簡易水防訓練は円滑に実施できたか

	人	割合
できた	10	17.5%
できなかった	1	1.8%
無回答	46	80.7%
合計	57	100.0%

問 訓練に参加した感想は

	人	割合
参加して良かった	28	49.1%
参加しなければ良かった	1	1.8%
無回答	28	49.1%
合計	57	100.0%

<「参加して良かった」と答えた人の理由>

- * 初めての体験で良かった
- * 今後参考になる為
- * 改めて考えることが出来た
- * 訓練でも参加はするべき
- * 避難訓練の概要がイメージ出来た

<「参加しなければ良かった」と答えた人の理由>

- * 役に立つとは思えない

問 自由意見

- * 今後も避難訓練を実施してほしい
- * 日時等を明かさずに不意打ちで避難訓練を実施してほしい
- * 避難所での受付時の名前記入に時間がかかりすぎる
- * 大蓮寺川が氾濫した場合は、大蓮寺川を渡らない場所への避難を検討すべき
- * 防災無線が聞こえにくい。対策を考えないといけない